	平成	27年度	事務事業実績	責評価表	政策	策No.	3	施策No.		業No.	10 -	33		
1976年2月   19	事務事業名 総合支援補装具給付事業								会計					
京条保護・研会	H28‡	担当課等	名 福祉課		H28係等名 障	<b>音福祉係</b>						20	ルミー	
対象(国・何を)   括映具を 在 密する時か、明音   34年度数値   34年度数値   34年度数値   34年度数値   34年度数値   34年度数値   34年度数			_			せるまちづくり	)							
対象(値・何文)	の位	立置づり	ナ 施策	34 障害者	福祉の推進					<b>松無</b> 友 ℧	7以出 仕		07/5	<b>声</b> 粉/ <b>点</b>
日 原図(ピシッ大族) 操称・別者が、日常生活の不使を解消して自立した生態		対象(	誰・何を)	補装具を希望す	補装具を希望する障がい児者					指標名及び単位			27年	<u></u>
おいまたが、										章がい児者数(人)			5713	
(株)   (k)   (k							立した生	象						
本業   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	ロカ	(だするか)   店を送れるようにする												
情報				安心して地域で	日常生活が送れて	ている割合								
成果   株安長の窓付を受けて生活をしている解本児名数/タ			木1日1宗		なび単位		97年 由計	-面 97名	宇宙宝結	199年度計画	28年度目は2	引借妻	4/比坷7	ボ雷かど)
### (本障害児者数 (%)						字粉 / 包	21千尺町	四口午及天		28年度計画 20年度允込み 11用名		7 (1日/1示グ	<b>文文</b> なこ)	
東京							4.1	3.2		5.7	7 4			
定性     日標     在名の重度除かい者等に対し、失われた身体の機能を補完するための機器を適吉の種類や程度に応じて給付する。 利用者負担は、原則構造払い情談具の引き液しを受けた時、構装具業者に割を支払えば良いことにかる。ただし、補装具業者に割めまなえば良いことにかる。ただし、補装具業者に割めまなえば良いことにかる。ただし、補装具業者に割めまなえば良いことにかる。ただし、補装具業者に割めまなえば良いことにかる。ただし、補業事業の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。     事業書計(千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 (旧) 障害者自立支援給付責負担金(1/2) 国庫支担金 10,169 12,250 8,616 11,590 (県) 障害者自立支援給付責負担金(1/4) 果実出金 5,077 6,125 4,308 5,795 記値 その他 一般財振 5,061 6,125 4,309 5,795 記憶 2,800 (元) 2,800	目													
在宅の産産廃込い本等に対し、失われた身体の機能を補完するための機器を増生の種類や機関に応じて給付する。利用者負担は、原則保護ない(補談具の付き渡しを受けた味、補談具業者に前談具の廣入代金、含物を支払う)となる。ただし、補銭具業者に前談別を受け取るための発化を力をごとは10月間では、補業具業者に到かまたは15人にあいるとかの金に存むことにより利用者負担見直しが実施された。 ただし、日24年4月から廃込い者制度改革権進を指等における検討を踏まえて障害保健福祉施業を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。  事業費計(千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 (国) 廃害者自立支援総付費負担金(1/2) 国庫支出金 10,169 12,250 8,16 11,590 (県) 原来支出金 5,077 6,125 4,308 5,795 起候 その他 での他 「一般財源 5,061 6,125 4,309 5,795 人件費計(千円)② 5,881 5,581 5,581 5,581 1,200 (服) 原来支出金 1,200 (服) 原来等を1,200 (R) 原来を1,200 (R) 原来等を1,200 (R) 原来 1,200 (R) 原本 1,200 (R) R) R	標													
在宅の産産廃込い本等に対し、失われた身体の機能を補完するための機器を増生の種類や機関に応じて給付する。利用者負担は、原則保護ない(補談具の付き渡しを受けた味、補談具業者に前談具の廣入代金、含物を支払う)となる。ただし、補銭具業者に前談別を受け取るための発化を力をごとは10月間では、補業具業者に到かまたは15人にあいるとかの金に存むことにより利用者負担見直しが実施された。 ただし、日24年4月から廃込い者制度改革権進を指等における検討を踏まえて障害保健福祉施業を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。  事業費計(千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 (国) 廃害者自立支援総付費負担金(1/2) 国庫支出金 10,169 12,250 8,16 11,590 (県) 原来支出金 5,077 6,125 4,308 5,795 起候 その他 での他 「一般財源 5,061 6,125 4,309 5,795 人件費計(千円)② 5,881 5,581 5,581 5,581 1,200 (服) 原来支出金 1,200 (服) 原来等を1,200 (R) 原来を1,200 (R) 原来等を1,200 (R) 原来 1,200 (R) 原本 1,200 (R) R) R		<b>学</b> 株												
利用者負担は、原則情選払い(補業具の計会後にを受けた時、維装具業者に需要集の購入代金、金額を支払う)となる。ただし、補業 具業者に対象で表してあたかの金長をすることにより利用者負担、イースを設ける場合を踏また「関するとは「はいてになる。 ただし、旧24年4月から暗分い者制度改革推進を制等における場合を踏また「障害保健福祉監策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。 事業 様様 要 183件 事業費計(千円)① 20.307 24.500 17.233 23.180 (国) 障害者自立支援給付責負担金(1/2) 国庫支出金 10.169 12.250 8.616 11.590 (場) 障害者自立支援給付責負担金(1/4) 現支出金 5.077 6.125 4.308 5.795 老の他 その他 その他 1.005 (現) 1.00														
具業者に割分を受け扱うための登信をすることにより利用者は、補炭具業者に割め支払えば以ことたる。 ただ、LT44年月から海が、名前皮 立体健康 生物学により、利用者負担見直しが実施された。 事業 後													+-+×1	<del>14</del> 14+
たたし、旧24年4月から陰がい者制度改革推進本部等における協計を踏まえて除害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。  事業の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。  事業の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律により、利用者負担見直しが実施された。  事業の主意を表現した。  事業の主意を表現した。  「活動指標 おおけ 本語 は は は は は は は は は は は は は は は は は は		利用名	」用者負担は、原則價遠払い(補装具の引き渡しを受けた時、補装具業者に補装具の購入代金、全額を支払う !業者に9割分を受け取るための委任をすることにより利用者は、補装具業者に1割を支払えば良いことにかろ									となる	)。/こ/こし	、
事業コスト   26年度決算額   27年度予算額   27年度予算額   28年度予算額   183件   183件   27年度予算額   27年度予算数   27年度予算数   27年度予算額   27年度予算額   27年度予算額   27年度予算額   27年度予算額   27年度予算額   27年度予算数   27年度PT   27年度P		ただし	だし、H24年4月から障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間にお										[おいて	障害者
# 要 コスト 26年度決算額 27年度予算額 27年度決算額 28年度予算額 183件  事業 コスト 装具、補聴器ほか 183件  事業 書 (千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 (国) 政告者自立支援給付費負担金(1/2) 国庫支出金 10,169 12,250 8,616 11,590 県 文出金 5,077 6,125 4,308 5,795 起情 その他		等の地	1域生活を3	<b>支援するための関係</b>	糸法律の整備に関	員する法律に	より、利月	より、利用者負担見直しが実施された						
本業コスト   26年度決算額   27年度予算額   27年度決算額   28年度予算額   23.34   24.00   24.00   17.23   23.180   25.38   24.00   2.28   24.00   2.28   24.00   2.28   23.180   23.180   24.00   24.00   24.00   24.00   24.00   25	兼概													
# 装具 合														
# 装具 合														
# 装具 合														
# 装具 合														
車													標	
事業コスト 26年度決算額 27年度予算額 27年度決算額 28年度予算額 特定財源内訳、補足 事業費計(千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 (国)障害者自立支援給付費負担金(1/2) 国庫支出金 10,169 12,250 8,616 11,590 (県)障害者自立支援給付費負担金(1/4) 県支出金 5,077 6,125 4,308 5,795 起債 その他 一般財源 5,061 6,125 4,309 5,795 上退職員所要時間 1,200 塩時職員所要時間 1,200 塩時職員所要時間 1,200 塩の砂(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・								和刊刊教			1001+			
事業コスト 26年度決算額 27年度予算額 27年度決算額 28年度予算額 特定財源内訳、補足 事業費計(千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 (国)障害者自立支援給付費負担金(1/2) 国庫支出金 10,169 12,250 8,616 11,590 (県)障害者自立支援給付費負担金(1/4) 県支出金 5,077 6,125 4,308 5,795 起債 その他 一般財源 5,061 6,125 4,309 5,795 上退職員所要時間 1,200 塩時職員所要時間 1,200 塩時職員所要時間 1,200 塩の砂(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・(大)・														
事業コスト   26年度決算額   27年度予算額   27年度決算額   28年度予算額   特定財源内訳、補足   事業費計(千円)①   20,307   24,500   17,233   23,180   (国) 障害者自立支援給付費負担金(1/2)   国庫支出金   10,169   12,250   8,616   11,590   県支出金   5,077   6,125   4,308   5,795   起債   その他   一般財源   5,061   6,125   4,309   5,795   12規職員所要時間   1,200														
事業コスト 26年度決算額 27年度予算額 28年度予算額 8年度財源内訳、補足 事業費計(千円)① 20,307 24,500 17,233 23,180 国庫支出金 10,169 12,250 8,616 11,590 県東文出金 5,077 6,125 4,308 5,795 起債 その他 - 般財源 5,061 6,125 4,309 5,795 起債 その他 - 般財源 5,061 6,125 4,309 5,795 上 成職員所要時間 1,200 1,200 臨時職員所要時間 1,200 1,200 地球リハビリの活動や、常に補装具に関する情報を収集し適正な支給を行った。 中業内容・目標達成状況の振り返り 1,000 1,0														
事業コスト   26年度決算額   27年度予算額   27年度決算額   28年度予算額   28年度予算額   事業費計(千円)①   20,307   24,500   17,233   23,180   (国)障害者自立支援給付費負担金(1/2)   国庫支出金   10,169   12,250   8,616   11,590   県,支出金   5,077   6,125   4,308   5,795   起債   20他   -般財源   5,061   6,125   4,309   5,795   人件費計(千円)②   5,581   5,581   5,581   1,200	事													
事業コスト   26年度決算額   27年度予算額   27年度決算額   28年度予算額   28年度予算額   事業費計(千円)①   20,307   24,500   17,233   23,180   (国) 障害者自立支援給付費負担金(1/2)   東支出金   10,169   12,250   8,616   11,590   (県) 障害者自立支援給付費負担金(1/4)   県支出金   5,077   6,125   4,308   5,795   起債   その他   一般財源   5,061   6,125   4,309   5,795     上規職員所要時間   1,200   1,200   1,200     (原) 下野時間   1,200   1														
事業費計(千円)①														
事業費計(千円)①														
事業費計(千円)①														
事業費計(千円)①														
事業費計(千円)①														
国庫支出金	-d-	* //*	<u> </u>											(9)
県支出金	争			,	= -,		,=		. ,	(12) 14 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
起債				·					1,000					
一般財源					,									
人件費計(千円)②         5,581         5,581           正規職員所要時間         1,200         1,200           藤時職員所要時間         1,200         1,200           藤本業費①+②         25,888         24,500         22,814         23,180           事業内容・目標達成状況の振り返り         地域リハビリテーション等関係機関と連携し、適正な支給決定を図るとともに、継続的に制度の運用が出来るように努めている。           改革改革の考え方         ②改革 障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具のまなができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具の														
正規職員所要時間 1,200 1,200 1,200	1			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			5,795						
臨時職員所要時間       1,200       1,200         総事業費①+②       25,888       24,500       22,814       23,180         事業内容・目標達成状況の振り返り       地域リハビリの活動や、常に補装具に関する情報を収集し適正な支給を行った。         改革改善の考え方       即リハビリテーション等関係機関と連携し、適正な支給決定を図るとともに、継続的に制度の運用が出来るように努めていく。         改革改善の考え方       ②改革       障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具のませんだる。														
<ul> <li>総事業費①+② 25,888 24,500 22,814 23,180</li> <li>事業内容・目標達成状況の振り返り</li> <li>改革改善の考え方</li> <li>②改革 障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具のする情報を収集し適正な支給決定を図るとともに、継続的に制度の運用が出来るように努めていく。</li> </ul>				· ·										
事業内容・目標達成状況の振り返り  ①問題 県リハビリテーション等関係機関と連携し、適正な支給決定を図るとともに、継続的に制度の運用が出来るように努めていく。  ②改革 障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具の			費①+②	25,888	25,888 24,500 22,8				-					
標達成状況の振り返り  ①問題	重業	台内宏•	地域リグ	ドリの活動や、常	に補装具に関する	る情報を収集	し適正な	支給を	行った	0				
□問題 点	標達	<b>运成状</b> 沥												
改革改善 の考え方 ②改革 障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具の またなできるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具の	の振	り返り												
改革改善 の考え方 ②改革 障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具の またなだる。					/等関係機関と連	連携し、適正な	で支給決定	定を図	るとともり	こ、継続的に	制度の運用	が出	来るよう	に努めて
の考え方 ②改革 障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、引き続き地域リハビリ等通じて補装具の またたたる	沙草	改美		//<.										
②収車   支給お行う			@34-# <u>-</u>	<b>章がいのある人が</b> F	自立した日常生活	5又は社会4	活を営む	ことが	できるよ	うに、引き続	き地域リハ	ごり等	通じて補	装具の
V 2 1 +			1('7) [47] [15										111	